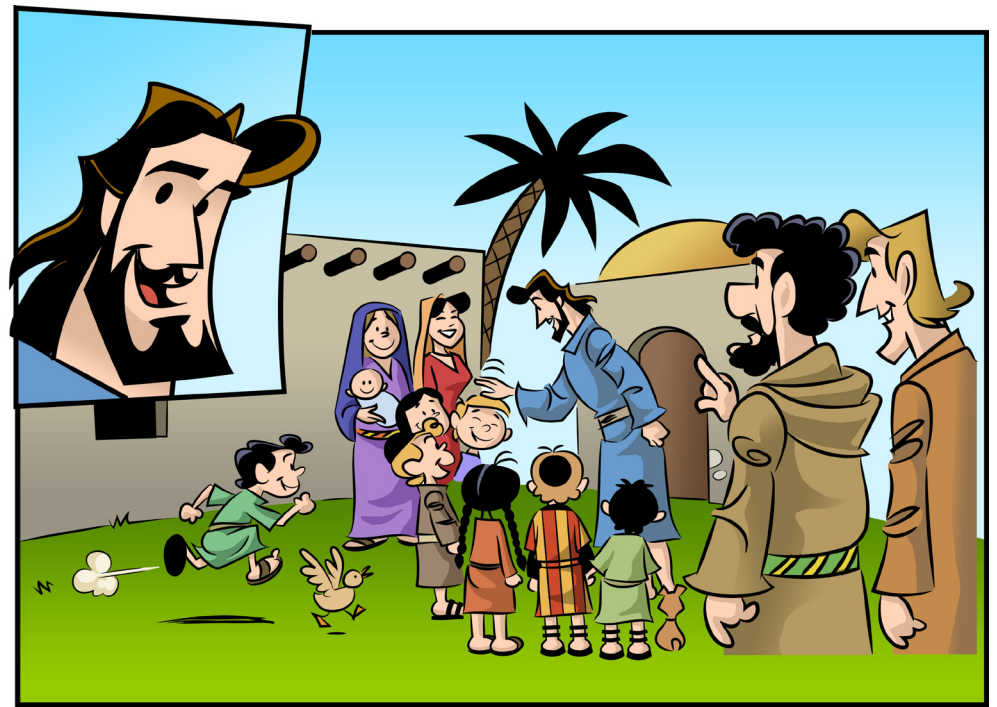


わたしは <sup>こども</sup>子供たちが <sup>だいす</sup>大好きだよ！

# I LOVE CHILDREN!



わたしが <sup>ちじょう</sup>地上にいた <sup>とき</sup>時は、<sup>ひとびと</sup>人々がよく <sup>こども</sup>子供たちをわたしの <sup>もと</sup>元に連れてきたものだ。<sup>いちど</sup>1度は、わたしの <sup>じゃま</sup>じまになると <sup>でし</sup>弟子たちが <sup>おち</sup>おちって、<sup>こども</sup>子供たちを <sup>かえ</sup>帰そうとしたこともあった。その <sup>とき</sup>時、わたしが <sup>なん</sup>何と言ったか <sup>おぼ</sup>覚えてるかい？ <sup>い</sup>こう <sup>い</sup>言ったんだ。「<sup>こども</sup>子供たちを、わたしの <sup>ところ</sup>ところに <sup>こ</sup>来させなさい。 <sup>と</sup>止めては <sup>なら</sup>ならない。  
<sup>かみ</sup>神の <sup>くに</sup>国は、<sup>もの</sup>このような <sup>もの</sup>者たちの <sup>もの</sup>ものである。」<sup>1</sup>

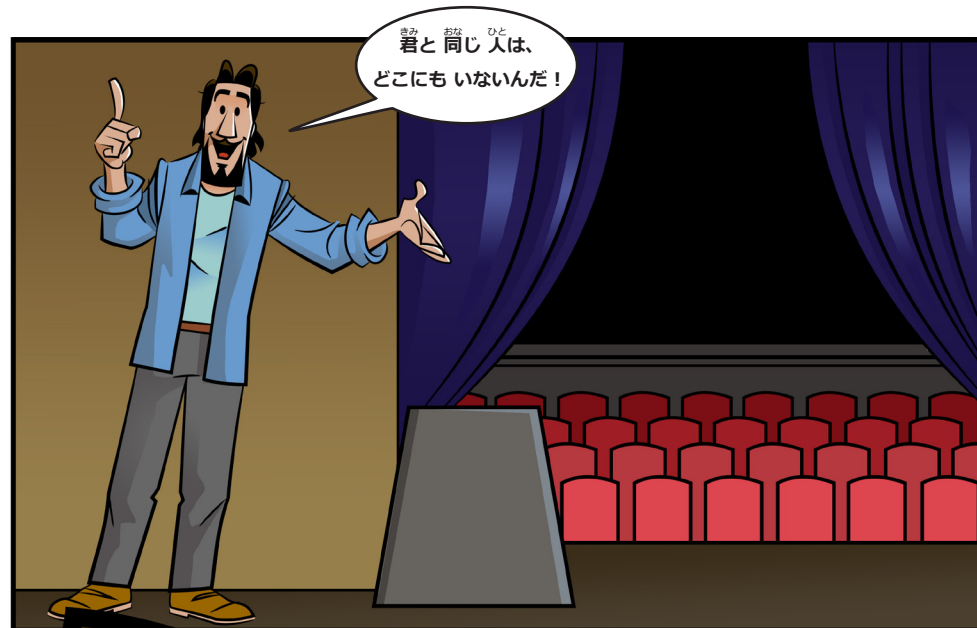


<sup>こども</sup>子供たちはわたしにとって、<sup>たいせつ</sup>大切な <sup>そんざい</sup>存在だ。<sup>ちじょう</sup>地上にいた <sup>とき</sup>時は、<sup>こども</sup>子供たちと <sup>す</sup>過ごす <sup>じかん</sup>時間が <sup>だいす</sup>大好きだった。そして <sup>いま</sup>今も、<sup>こども</sup>子供たちが <sup>だいす</sup>大好きだよ。 <sup>きみ</sup>君たちはわたしにとって、<sup>とくべつ</sup>特別な <sup>そんざい</sup>存在なんだ！

君たちの一人一人はみんな、ちがっているね。それはいいことだよ。一人一人に個性があるんだ！君と同じ人は、どこにもいない。たとえ君が他の人たちと同じようなしゅみを持っていたりした所があっても、君の考え方や行動は、君だけのものだ。



子供たちは、これからまだまだ成長するし、たくさんのことを学ぶ。だから、ほがらかで思いやりのあるしりよ深い人になれるよう、正しい選たくをしていくことが大切だ。そのためには、どうしたらいいだろう？




- ◆ わたしと時間を過ごし、わたしの教えを学ぶ。
- ▶ 新しいことを熱心に学ぶ。
- ▶ 両親や先生たちからしっかり聞いて学ぶ。彼らには、君に教えられることがたくさんあるからね。
- ▶ 親切になる。
- ▶ 周りの人たちに対して、素直で友好的になる。
- ▶ 自分で考えたり工夫したりして楽しく過ごす。
- ▶ お手伝いをしたり、責任を持つ。
- ▶ 自分の思い通りにならない時でも、状況を受け入れ、快活でいることを学ぶ。
- ▶ 自分にまちがったことをしてしまった人をゆるしてあげる。
- ▶ 正直でいる。

「父が どれほどわたしたちを愛して下さるか、考えなさい。それは、わたしたちが  
神の子と呼ばれるほどで、事実、また、そのとおりです。」<sup>2</sup>

まだ小さくて、経験もなく、学ぶべきことがたくさんあるから、自分は  
特別じゃないなんて思いそうになったらいつでも、わたしが君たちを愛している  
ことを思い出すんだよ。



「わたしたちは、わたしたちに対する神の愛を知り、また信じています。神は愛です。  
愛のうちにいる者は神のうちにあり、神もその人のうちにおられます。」<sup>3</sup>



脚注：

- 1 マルコによる福音書 10:14 参照
- 2 新共同訳聖書、ヨハネの手紙一 3:1
- 3 新改訳聖書、ヨハネの手紙一 4:16